

深川小学校保護者様

令和6年7月学校評価アンケート集計結果及び改善プランについて

長門市立深川小学校  
校長 有馬章治

平素より本校教育の推進に御協力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、7月に実施しました今年度1回目の学校評価アンケートでは、保護者の皆様に御協力いただき、大変ありがとうございました。先日の学校運営協議会にて、アンケートの集計結果と改善プランについて報告し、今後の対応について検討いたしましたので、下記のとおり御報告いたします。

記

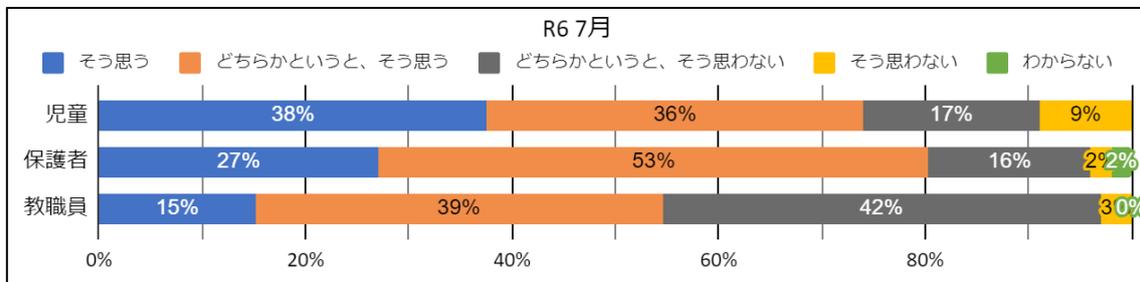
1 アンケート実施概要

- (1) 実施日 令和6年7月8日～12日
- (2) 実施対象 児童444名 保護者444名 教職員36名
- (3) 回収数 児童415部 保護者351部 教職員33部
- (4) 回収率 児童93.5% 保護者79.1% 教職員91.7%  
(前回80.3%)

2 項目別アンケート集計結果及び考察 (○)、並びに改善プラン (☆)

- そう思う
- どちらかという、そう思う
- どちらかという、そう思わない
- そう思わない
- よく分からない
- 無回答

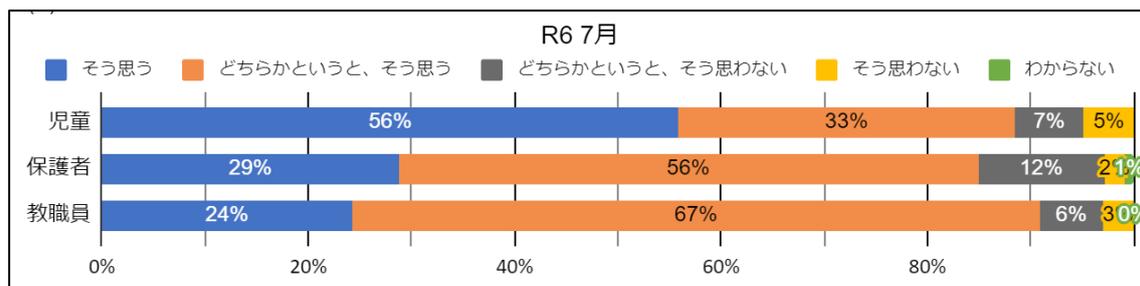
(1) 児童は、『笑・自・気』あいさつ+1」をしているか。



R5.12月との比較 (肯定的回答) 児童-7P、保護者±0P、教職員-23P

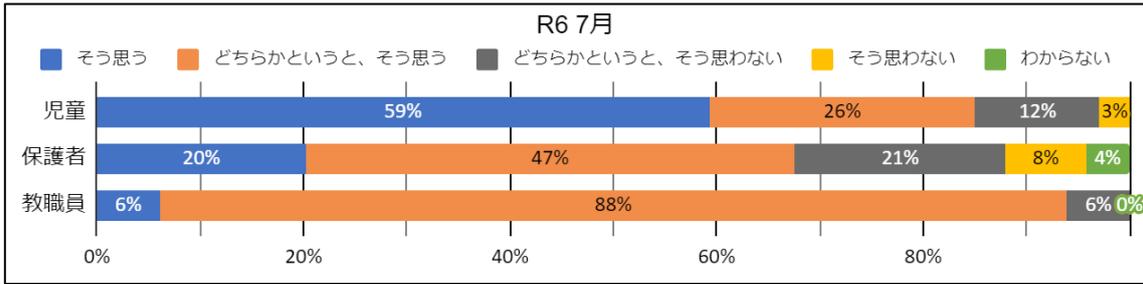
※肯定的回答…「そう思う」「どちらかという、そう思う」の回答

(2) 児童は、「バッチリ・ふり返り」をしているか。



R5.12月との比較 (肯定的回答) 児童-2P、保護者+7P、教職員-9P

(3) 児童は、『バシッと』体づくりをしているか。

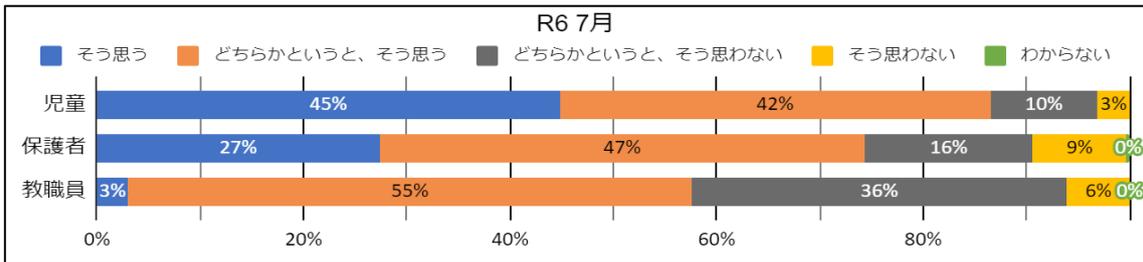


R5. 12月との比較（肯定的回答） 児童-1P、保護者+1P、教職員+7P

○ チャレンジ目標に関する質問項目では、昨年度12月と比較して児童や教職員の評価（特に挨拶の評価）が下がっています。一方で、昨年度から開始した（2）（3）の保護者の評価が上がってきていることから「バッチリ振り返り」「バシッと体づくり」の取組が浸透しつつあることが窺えます。

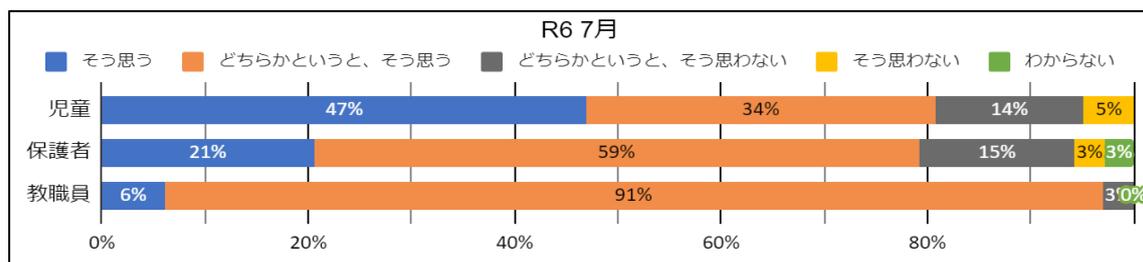
☆ 「挨拶+1」については、2学期から「相手と目を合わせて挨拶しよう」を目標にして全校で取り組んでいます。また、日頃から教職員が積極的に挨拶し、挨拶のよさを広めています。「振り返り」については授業だけではなく、行事や様々な活動後に振り返る時間を設けていきます。御家庭でも親子の対話として1日を振り返る習慣をつくっていただけたらと思います。「体づくり」については学級通信や学年便り等で体育の取組について積極的に情報を発信して児童の取組の様子を伝えていきます。持久走大会前に「深川 de チャレンジ」を実施し、家庭でも体づくりの意識を高めていけるようにしていきます。

(4) 児童は、授業の構え（筆箱の中身・1分前着席・次の時間の用意）ができているか。



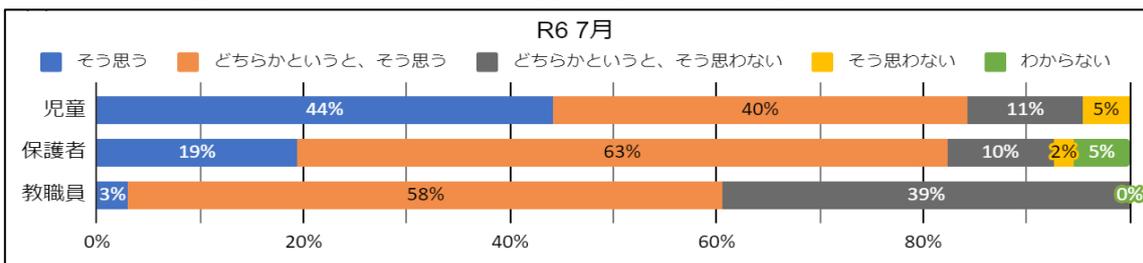
R5. 12月との比較（肯定的回答） 児童+1P、保護者-1P、教職員-11P

(5) 児童は人の話をしっかり聞いたり、自分の思いや考えを伝えたりしていますか。



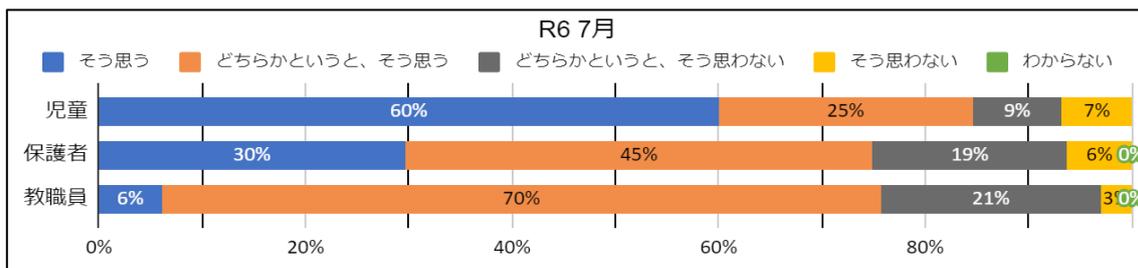
本年度、新たに取り入れた評価項目

(6) 児童は、人の意見や行動に流されず、自分で考えて判断し、正しく行動しているか。



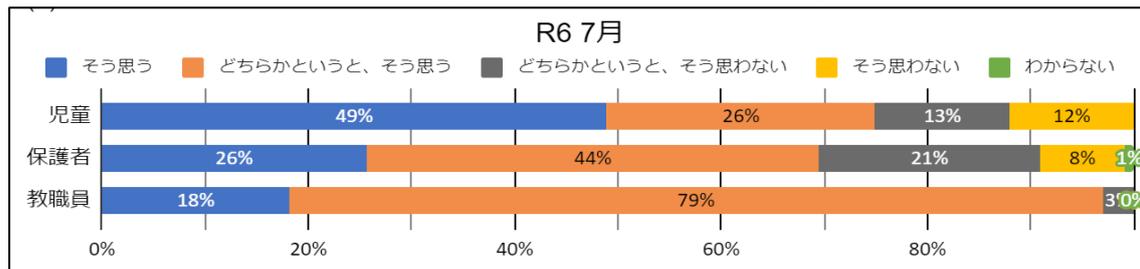
R5. 12月との比較（肯定的回答） 児童-2P、保護者+2P、教職員±0

(7) 児童は、好き嫌いなく食べているか。



本年度、新たに取り入れた評価項目

(8) 児童は、学年にふさわしい時間、家庭学習をしているか。

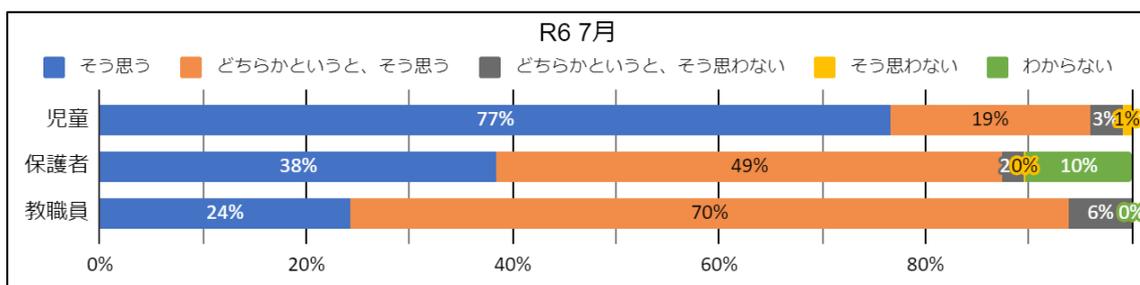


R5. 12月との比較（肯定的回答） 児童-1P、保護者+2P、教職員+4P

○ 児童に関する項目では、(5) (7) の項目を新たに加えました。(4) の授業の構えの教職員の評価が下がっていますが、他は、昨年度 12 月の評価とあまり変わりません。家庭学習については、昨年度と同様に児童、保護者の肯定的回答が低く、教職員の肯定的回答が高く、家庭学習の取組への意識のずれが生じています。

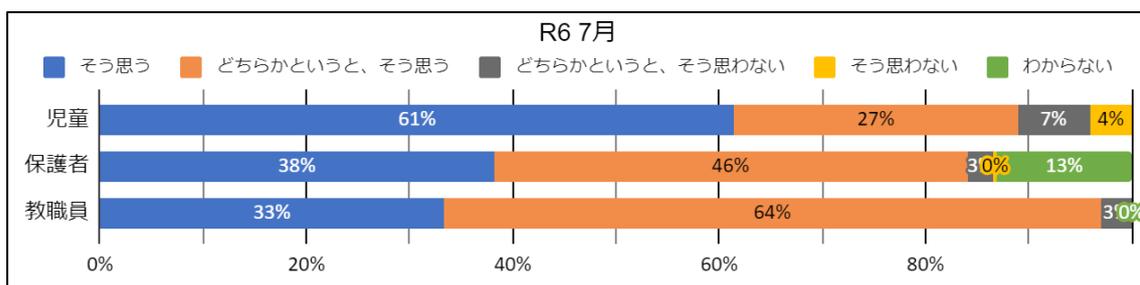
☆ (4) の授業の構えについては持ち物を管理する力、時間を守って行動する力が身に付くように学校で声をかけていきます。(7) の食に関しては体づくりの観点からできるだけ好き嫌いなく食べられるように励ましていきます。(8) の家庭学習については、各学年で現在の状況を把握し、学年の実態に応じた内容になるように見直し、個人差に対応し、家庭と連携しながら進めていきます。

(9) 教師は、分かりやすく勉強を教えているか。



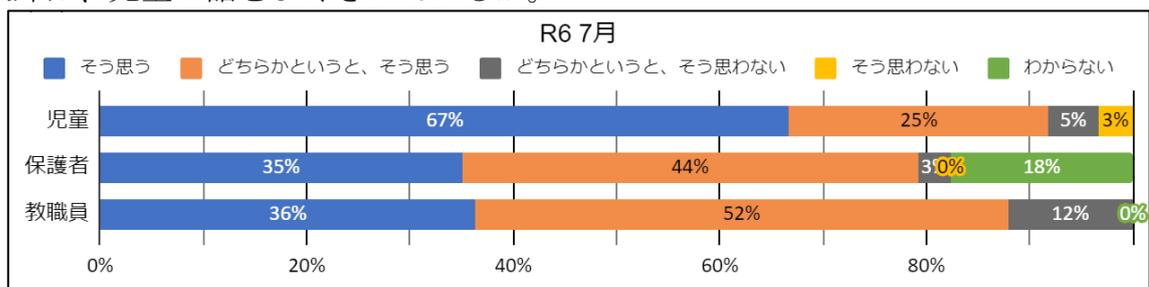
R5. 12月との比較（肯定的回答） 児童+1P、保護者+4P、教職員-2P

(10) 教師は、児童のよさをよくほめたり認めたりしているか。



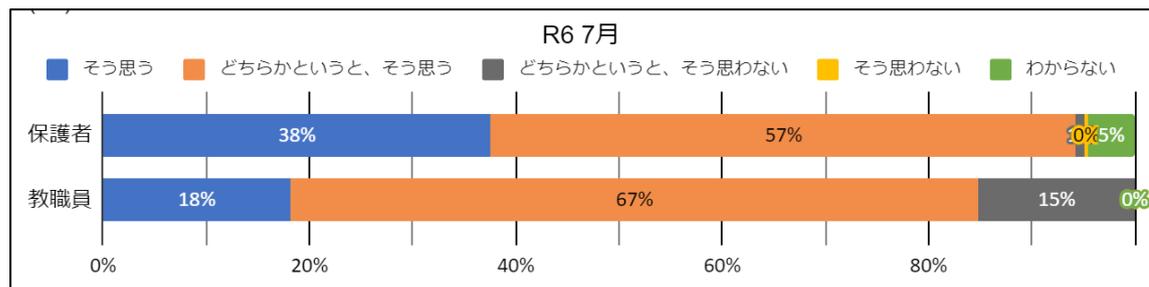
R5.12月との比較（肯定的回答） 児童-1P、保護者+3P、教職員+3P

(11) 教師は、児童の話をよくきいているか。



R5. 12月との比較（肯定的回答） 児童+1P、保護者+3P、教職員-5P

(12) 教師は、保護者・地域と連携した教育に努めているか。



R5. 12月との比較（肯定的回答） 保護者+13P、教職員-3P

○ 教師に関する項目では、児童の肯定的評価がどの項目においても約9割と高くなっています。子どもたちのこの肯定的な受け止めを大切にしていかななくてはならないと考えました。(12)の連携教育では保護者の肯定的回答が13ポイント上がり、保護者の皆様の学校の行事や様々な取組への関心度や理解度の高さの表れであると考えます。

☆ 児童の称賛については、今後も子どものよさを見取り、認め、そして教職員全体で子どもを見守り、学習を進めていきたいと思えます。教職員全体で子どもたちを見守る体制づくりに努め、安心・安全な環境に配慮していきます。保護者の方に、学校行事や懇談会や学級通信等、機会をとらえて子ども達の良さや成長を伝えていきます。地域連携については、学校だよりやホームページを通じて、学習の様子を発信していきます。子どもの成長のために保護者の皆様と共に取り組んでいきたいと考えております。

3 自由記述のまとめ及び改善プラン ※ 主なものを抜粋しています。

意見	改善プラン
(1) 教員同士の連携をとってほしい。	連携は図るように努めています。今一度、しっかりと学年、学校全体で、共通理解をしながら進めていきます。
(2) 配布物のミスに気を付けてほしい。	ミスのないように努めます。御不明の点がありましたら御遠慮なく、問い合わせてください。
(3) 児童への指導の仕方(言葉がけ)が強いと感じることがあります。	指導する内容によっては強い口調になることもありますが、子どものよい面はしっかりと価値付け、褒めていくようにしていきます。
(4) 校服の変更(男女ブレザー・スカートとズボンの選択)アンケートをとってみたいかどうか。	校服については、さまざまな考え方がありますので、PTAとも今後の検討事項とはしますが、時間を要する課題であると考えます。
(5) 子ども同士のトラブルを聞いたのですが。	トラブルがあった場合は、関係児童の御家庭には必ず連絡をとって対応しています。もし、お聞きになった情報で不明のことがあったら御遠慮なくお問い合わせください。
(6) 授業中、子どもが(無駄話など)集中していないように感じる。 ・学習についていけないのではないかと、不安。	子どもたちが集中して学習できるように、授業改善・研修に努めます。学校での学習態度について、望ましい態度を家庭でも話題にいただけると有り難いです。

(7) 自学ノートの意義が分からない。	今、ドリル学習のように反復することで学習内容を定着させる学習方法だけでなく、自分で課題を見付け、自分の学びを振り返り、調整していく力も求められています。出された学習だけでなく、自分の学びに合った学習を自分で考えていくためにも、自学が必要であると考えます。時間的に自学をするのが難しい場合は担任と御相談ください。
(8) 作文の宿題を出してほしい。	作文の宿題は、学年ごとに必要に応じて実施しています。一律に出すことが難しいので、ぜひ、自学でも取り組んでほしいと思います。
(9) 学年を問わず、ノートの丸付けやコメントが先生によって違う。コメントがほしい。	朝の時間や休み時間を利用して、連絡帳や宿題のノート、プリント、音読カード、授業のノートを確認し、返却をするようにしています。休み時間には、子どもの話を聞いたり、トラブルがあれば対応したり、授業の準備をしたりしなければならないこともあり、コメントすることが難しい場合もあります。努力しますが、難しい場合は御容赦ください。
(10) 参観授業でもっといろいろな教科を参観したい。	学年で検討しますが、限られた参観日の中で、希望の教科にならないこともあります。御了承ください。
(11) ・サマースクールへの参加が負担である。 ・暑い夏休みでの実施が疑問である。	サマースクールは全員対象ですが、授業日ではないため、参加については家庭の判断にお任せします。サマースクールでは、1クラスに複数の教員や地域ボランティアを配置しますので、一人一人のつまずきに対応することができるという利点があります。今年のサマースクールでも「できた」「分かった」という子どもの声が聞かれました。
(12) 熱中症対策の水分補給ですが、5分休憩の中では難しいのではないかと。	1日の時程や5分休憩については変更の予定はありません。熱中症対策については、毎日、学校全体や学級でも声かけをしていますが、さらに意識的に声をかけるようにしていきます。
(13) 寺子屋の5・6年の実施について、学ぶ内容を選択制にしてほしい。	寺子屋の学習内容は3・4年生と5・6年で違います。3・4年生は、参加を希望する子どもたちが宿題や自分の選んだ学習を中心に行っていますが、5・6年生は、教育課程の中に、算数科の授業として位置付けているため、必修となります。毎回、学習内容を決めて実施するため、選択制にはなりません。御理解ください。
(14) 休み時間、隣のクラスの友達のところへ行くのを許可してほしい。	教室には学習で使う教材・教具、そのクラスの子どもの持ち物や作品等も置いてあります。担任が不在の場合に、破損や紛失、喧嘩等のトラブルが起こることもあるので、子どもだけの判断で教室の行き来は認めていません。ただし、その教室の担当者の許可をもらえば、入ってよいことになっています。
(15) 遅れて食器を返却する際の言葉について、「すみません」と言わないでほしい。	これまで、給食の返却に遅れた児童が、給食配膳室で「遅れてすみませんでした。御馳走様でした。」と言って返すのが習慣になっていました。今後も、仕事をしている相手(配膳員さん・給食委員会の人)に対しての思いやりの言葉・マナーとして一言添えて返却するように指導していきます。ただし、返却の言葉に関しては、子ども自身で考えさせていきます。 併せて、できるだけ準備・配膳を素早く行うようにし、食べる時間を確保し、時間を守って生活する力も身に付けさせるよう指導していきます。

※全校に関わる御意見に対する改善プランを上記に掲載しておりますが、学年や学級に関する御意見は各学年や学級で真摯に受け止め、対応していきたいと思っております。お困りのことがありましたら、どうぞ御遠慮なく、御相談ください。

なお、上記に掲載していない学級に関わる個別の御意見につきましては、学年・学級で対応しているところです。御理解のほど、よろしくお願いたします。